

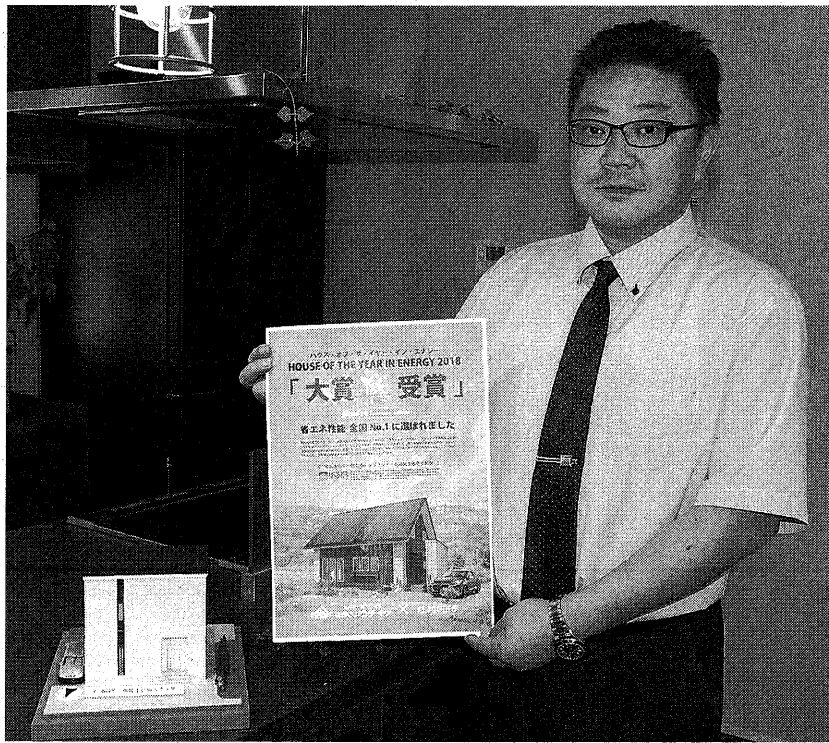
産業経済NEWS

省エネ性能の住宅表彰 道内初 住まいのウチイケが大賞受賞

室蘭市に本社を置く住宅メーカー「住まいのウチイケ」(内池秀光社長)が、省エネ性能に優れた住宅を表彰する

一般財団法人日本地域開発センターの「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2018」で最高賞の大賞を受

賞した。道内初の受賞で、全国200以上の応募の中から選ばれた。表彰は、住宅の省エネ性能



大賞受賞を喜ぶ工藤 苫小牧支店長

や、省エネ住宅の普及に向けた取り組みなどを評価するもので、同社は2014年から応募を重ね、5年目で初受賞となった。

今回大賞を受賞したのは、同社標準仕様の「エコハウススタンダード」。ダブル断熱やトリプルサッシなど高気密・高断熱建材を使用し、年間光熱費を一般住宅の半分以下に抑えることが可能だという。

同社は08年に苫小牧支店(工藤支店長)を開設。17年には苫小牧市ウトナイ北に常駐モデルハウスをオープンし、苫小牧でも着実に受注を増やしてきた。工藤支店長は「念願の大賞受賞。今後は大賞に恥じない住宅をお客さまに提案していきたい」と意欲を示した。

モデルハウス見学などの問い合わせは苫小牧支店 電話0144(84)6000。